

法人理念	ノーマライゼーションの理念に沿って、安全に、安心して地域で当たり前の生活ができるように人権を擁護し、生活の質の向上とその人らしい自立を目指すように支援します。		
支援方針	乳幼児期は、こどもの生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期であります。したがって、児童発達支援は、安全で安心して過ごすことができる居場所の提供により、こどもが充実した毎日を過ごし、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う支援をしていきます。		
営業時間	9 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし

支援内容

本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の健康状態を個々に把握して、日頃から観察し、小さいサインでも気づき対応していきます。 ・ 睡眠・食事・排泄など基本的な生活習慣が身につくように支援します。また、健康の基本となる食の育成に努め、口腔の状態、手指の運動機能に応じた自助具の利用、食べる周りの環境など配慮し楽しく食事ができるようにしていきます。 ・ 障害の特性に応じ時間や空間を本人にわかりやすく構造化し支援していきます。 ・ 衣服の調節、部屋の温度管理、感染症対策など安全に配慮していきます。
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や上肢・下肢の運動など全体的な運動で、動作の改善や習得が必要な個々に応じて対応していきます。 ・ 保有する感覚（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚など）統合の遊びとしてシーツハンモック、トランポリン、バランスボールなどを取り入れ豊かにしていきます。 ・ 天気の良い日は、外遊びをし日光を浴びて四季折々の自然を感じ取ります。
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援していきます。 ・ 取得した情報を過去に取得した情報と照らし合わせ、的確な行動につながるように支援します。 ・ 物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによってそれを認知や行動の手がかりとして活用できるように支援していきます。 ・ 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び適切な行動への対応支援を行います。
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の種類、程度興味関心に応じて、言葉のコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、ハンドサイン、カード等を用いて意思のやり取りができるように個々に応じた能力を身に付けるように支援していきます。 ・ 話し言葉や各種の文字・記号を用いて相手の意図を理解したり、自分の気持ちを伝えるなど支援していきます。 ・ 具体的な事物や体験と言葉の意味を結び付け、自発的な発声を促し、体系的な言語を身に付けるよう支援します。 ・ 相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解するコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ アタッチメントの形成と安定は、こどもが基本的な信頼関係を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感人に対する信頼感を育む支援を行う。自分の感情が崩れたり、不安になった際に「安心の基地」の役割を果たす支援をする。 ・ 遊びを通して人の動きを模倣して社会性や対人関係の芽生えを支援する。感覚遊び、運動遊びからみたて遊び、つもりあそびからごっこ遊びと徐々に社会性の発達を支援する。また、最初は、周りに無関心の一人遊びから大人が介入して役割分担し、ルールを守って遊ぶ共同遊びから、さらに、集団に参加する手順やルールを理解して遊びや集団活動へとつながるよう支援をしていく。

家族支援

日々の連絡帳でのやり取りや送迎時での会話で情報を共有し、困りごとや相談があれば随時対応していきます。個別懇談を定期的実施し、それ以外では研修会を兼ねた保護者会を開催し、保護者同士の話し合いの機会を作ります。

移行支援

インクルージョンの考えに基づき、地域社会の中で育てて欲しいと考えています。ご本人の通う幼稚園、保育園、他事業所等とお互いに連携を取り、包括的に成長を支援していきます。

地域支援・地域連携

こどもの生活環境を広げ、当たり前の生活をする機会を作ります。
(近所の方に、外で出会って挨拶をする／公園や近隣センター、公共の施設などで周りのこども、大人と交流を図る)

職員の質の向上

内部研修では、毎月の支援者会議で毎月のカリキュラムの計画、報告、反省、制度改革の要点の共通理解。虐待、安全衛生、感染対策など他の部署と連携して研修を実施。
外部研修では、支援に関する強度行動障害研修基礎・実践コース、千葉県発達支援センターの案内のある連続講座、柏市内にある事業所連絡会などに参加・報告。

主な行事等

お誕生会や、季節の行事を取り入れたカリキュラムで活動します。
(お花見、こどもの日、七夕、水遊び、月見、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分、ひな祭り など)